

(水道課関係 抜粋)

アジア・ゲートウェイ構想 (抄)

(平成 19 年 5 月 16 日 アジア・ゲートウェイ戦略会議決定)

1. 「最重要項目 10」

10. アジア共通課題に関する協力・研究の中核機能の強化
～環境・エネルギー等に関する協力・研究ネットワーク等の構築

- 水の管理・供給：アジアにおける飲み水と衛生、水不足、水質悪化、洪水等に対する対策のニーズの高さを踏まえ、第 1 回アジア・太平洋水サミット（本年 12 月）への積極的関与、アジアの水管理・供給政策の立案支援等を推進。

2. 重点 7 分野

(4) 「国内市場型」産業の競争力強化
～グローバル化に対応した「攻め」の農業・サービス業等の改革

- 市場のボーダレス化に対応した非製造業等の経営力強化
 - ・ 公共サービス業（水道事業等）などいわゆる「官業」も、海外進出を促進。

水道ビジョンの主要施策と今後の課題

- ・人口減少社会、少子高齢社会
- ・節水機器の普及等の給水量減少
- ・地方財政の逼迫
- ・頻発する地震等の災害
- ・水道施設の大量改築・更新
- ・水道技術者の不足



- ・平成16年6月
水道ビジョン策定
- ↓
- ・平成19年度
水道法の公布から50年
水道ビジョンフォローアップ



- ・水道ビジョンの長期的施策目標である「安心」、「安定」、「持続」、「環境」、「国際」の観点から論点整理

長期的な施策目標・・・安心、安定、持続、環境、国際

水道事業の運営基盤の強化

- ・運営基盤を確保するための事業規模等の検討
- ・事後監督型の行政システムへの移行についての検討
- ・アセットマネジメントや更新積立金等の資金確保方策の検討
- ・改築・更新のために必要な負担について需要者の理解を得るための情報提供のあり方についての検討

安心・快適な給水の確保

- ・水道施設管理手法の検討
- ・水道水源流域等の関係者の連携強化
- ・指定給水工事業業者制度の検討
- ・鉛製給水管の布設替え促進検討
- ・水質情報提供の促進検討

災害対策等の充実

- ・石綿セメント管の早期全廃についての検討
- ・既存施設に現行の耐震性能基準を適用しない経過措置の運用見直し
- ・耐震化計画の策定、実施に向けた指導強化
- ・地域の特性に応じた漏水対策の充実

環境・エネルギー対策の強化

- ・浄水発生土等の有効利用率向上に向けた推進方策の検討
- ・水道施設の最適配置や省エネ機器の使用についての検討
- ・水の有効利用による社会全体のエネルギー使用量削減についての検討
- ・老朽管路の積極的な更新等による有効率の向上

国際協力等を通じた水道分野の国際貢献

- ・水道分野の国際協力を支える国内体制の整備
- ・途上国の水道施設の維持管理を長期的なスパンで実施するための具体策の検討
- ・アジア・ゲートウェイ構想に基づく取り組み
- ・国内水道界の国際競争力の強化と業務指標の国際的展開

横断的な課題への対応

- ・水道法規制対象外施設の衛生対策、水道施設の適切な管理の確保及び管理責任の明確化、水道水質検査の合理化についての検討、水道分野における事業運営の客観的な評価制度の確立についての検討、水道技術継承や人材有効活用の促進 等